

# 魚沼市ものづくりタイムズ



ものづくりの挑戦者たち

事務局：魚沼市役所商工観光課 792-9753 Fax 793-1016  
メール通信先：産業振興係青木 (mail:aoki-susumu@city.uonuma.niigata.jp)

2006年4月5日 No. 3 魚沼市ものづくり振興協議会

## 魚沼市ものづくり振興協議会設立



今野発起人代表あいさつ

3月29日、日本文理高校が、選抜高校野球大会新潟県初のベスト8進出をかけた、滋賀県の北大津高校と甲子園球場で熱戦を繰り広げている時を同じくして、魚沼市のものづくりの挑戦者たちが集い『魚沼市ものづくり振興協議会設立総会』が開催され、初代会長に小林正晴氏(シンコー電気㈱代表取締役)を推薦、満場一致で承認されました。

設立総会では、第1号議案「魚沼市ものづくり振興協議会規約」、第2号議案「18年度同会活動計画」、第3号議案「18年度同会予算」、第4号議案「同会役員」が承認されました。



役員紹介

- 魚沼市ものづくり振興協議会役員(任期2年)
- 会長 小林正晴(シンコー電気㈱代表取締役)
  - 副会長 安部川洋司(株栄工舎代表取締役)
  - 〃 佐藤清(守門機工㈱代表取締役)
  - 理事 小川茂(小川電気㈱代表取締役)
  - 〃 小杉忍(有サカキヤ代表取締役)
  - 〃 加藤清和(株常盤製作所新潟工場代表取締役)
  - 〃 中村武信(株中村バルブ製作所代表取締役)
  - 〃 桑原浩二  
(ニューロング精機㈱小出工場工場長)
  - 〃 小島克己(有北新工機代表取締役)
  - 〃 川井義博(ホリカフーズ㈱常務取締役)
  - 〃 木我敏男(株三国東洋代表取締役)
  - 〃 小島光雄  
(㈱理研計測器製作所代表取締役社長)
- 事務局長 滝沢博忠  
(株アルプスビジネソリューション新潟取締役事業本部長)
- 会計 井口孝司(山田精工㈱取締役工場長)
- 監事 石田亘(アイデック㈱代表取締役)
- 〃 大平實(有大栄食品代表取締役)



星野市長の祝辞

総会には、星野市長、浅井魚沼市議会産業建設委員長、魚沼地域振興局長を始め、大田区産業振興協会の本田晃さん、にいがた産業創造機構の徳善清司さんのご臨席をいただきました。



設立総会に引き続き開催された『基調講演』では、昨年5月、新潟県が公募した民間からの人材登用により就任された、河合新産業企画監より『関東から見た新潟、新潟から見た魚沼』という

演題で、「魚沼市民を含む新潟県人には、時代を切り開くDNAがある。そのDNAによって、素晴らしいものづくり振興協議会となることを祈念します。」と激励の言葉をいただきました。



徳善さんの発声で乾杯！

## 魚沼市ものづくり振興協議会発足のご挨拶

会長 小林 正晴



魚沼市が誕生して早くも1年数ヶ月が過ぎようとしていますが、この間中越震災、豪雪にと天災に見舞われ、市民の皆様におかれましても、ご苦労の多い時を過ごされていられることと存じます。

心よりお見舞い申し上げます。

さて、日本経済は緩やかに回復しているといわれていますが、まだまだ地方経済は実感として感じ得ないものがございます。そうした中で旧町村の枠にとらわれず、魚沼市に「ものづくり集団」の組織を立ち上げることを目的に、15名の発起人と魚沼市商工課の支援により、約1年間議論を重ねてまいりました結果、去る3月29日、41社による設立総会が行われ「魚沼市ものづくり振興協議会」が発足いたしました。

この準備期間を通じ私が個人的に感じたことは、魚沼市には様々な業種の企業が多いことと

個々の企業が高い固有技術を有していることです。ただ反面では、旧町村の枠にとらわれ、全体を網羅する交流の場が少なかったことにより活性化が阻害されていたようにも思います。

このようなことからこの時期、当会が発足したことは、魚沼市の活性化に大きな意味を持つことを確信いたします。当会は「会の為の会では無く、会員の為の会」であること。また会員は「自ら考え自ら行動を起こす会員」であることをモットーに進めてまいります。そして、この魚沼の地に「個を生かし、個を結び、未来をきり拓く」ものづくり集団を創りたいと考えております。今後とも当協議会へのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

## 魚沼市のバックアップ体制

新潟県の選抜高校野球史に残る、日本文理高校のベスト8進出という記念すべき日に、誕生した『魚沼市ものづくり振興協議会』。会員の意気込みと関係機関の期待に、これからの歩の大切さを痛感するところです。

市のバックアップ体制も4月から、従来の商工課と観光課が統合され、商工観光課となりました。柳瀬商工観光課長の元、雇用対策係、産業振興係、施設係、企画宣伝係、企業誘致室と4係1室、本課20人の大所帯となりました。

事務局員は、発起人会からの継続的なものと考え、係にとらわれない横断的な対応を図り、風間、青木、船見、吉田が担当することとしています。引き続き、宜しくお願いいたします。

## 今後の動き

先の設立総会で承認された活動計画と予算に沿って、活動を展開して『魚沼産モノヒカリ』を目指さなければなりません。手始めに、会員が膝を交えての懇親を図り、まずは己を知り、仲間を知ることから着手したいと思います。

## 講演会のお知らせ

『地域からの挑戦！地域は変わる！』

喜多方ラーメンを全国ブランドに押し上げた、山口和之氏による講演会。(同封チラシ参照)  
4月30日(日)14:00~16:00 小出郷文化会館 小ホール。ものづくり振興協議会共催講演会。